

2019年度 我が校の学ぶ力向上策(実施計画)

【市 目標】

○授業改善と家庭学習の充実に向けた取組を両輪で進めることにより、学ぶ力を高め、確かな学力を育む。

【学校 目標】

○【学校教育目標】心身ともに健康で自主自律の精神にみちた児童の育成「聴いて 考えて つなげる」
○【校内研究主題】言語活動を通してともに学び合う子どもの姿をめざして

【現状と課題】

○視点1 「授業のスタンダード」(こうか授業術5箇条)に沿った学習の流れは、定着してきているが、文章を的確に読み取ったり、自分の考えをまとめ、言葉で表現したりすることに弱さが見られる。
○視点2 人の話をしっかり聞き、その思いを読み取って考えようとしたり、友だちの考えから自分の考えをよりよくしようとしたりする気持ちに弱さが見られる。
○視点3 校内研究で、言語活動の充実を通してともに学び合う子どもの育成をめざしてきたため、形として、「授業のスタンダード」の定着や予習の取組は進みつつある。しかし、系統的に子どものめざす姿が不明確で、子どもたちの考えを交流させながら学習を深める授業づくりには至っていない。

取 組		
視点1	視点2	視点3
学びを実感できる授業づくり	学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり	子どものために一丸となって取り組む学校づくり
【取組事項】 ○自分の考えをしっかりと持ち、互いに伝え合うための表現力の向上を図るため、言語活動を充実させた授業を展開する。 ○言語に関する基礎的な力の習得を図るために、「漢字音読名人」の取組を進める。	【取組事項】 ○年2回のQUや学期ごとの「ひだまり相談」を実施し、自己肯定感を高めたり、安心して学べる(自分の考えを聞いてもらえる・人の話を聞いて学ぼうとする)学習集団づくりに生かしたりする。	【取組事項】 ○言語活動における「めざす子どもの姿」を明確にし、系統立てることで各学年でつけるべき力を明らかにし、めざす方向性の統一を図る。 ○校内研究や職員研修、指導部会、学年部会等を効率的且つ有効に活用し、職員の指導力の向上を図る。

その他 取組事項

○学習規律や生活規律の徹底を図る。

取組の評価

	取組事項	評価指標	1回目	2回目
			評価	評価
視点1	自分の考えをしっかりと持ち、互いに伝え合うための表現力の向上を図るため、言語活動を充実させた授業を展開する。	言語活動を取り入れた授業率70%		
視点2	年2回のQUや学期ごとの「ひだまり相談」を実施し、自己肯定感を高めたり、安心して学べる(自分の考えを聞いてもらえる・人の話を聞いて学ぼうとする)学習集団づくりに生かしたりする。	各学級の学習のめあて(聴く・反応する)の毎日の振り返りで年間通して70%		
視点3	○言語活動における「めざす子どもの姿」を明確にし、系統立てることで各学年でつけるべき力を明らかにし、めざす方向性の統一を図る。	夏休みの研修で系統表を完成させる。		

評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上89%未満→B 70%未満→C 時期→1回目9月 2回目2月】

今年度の課題	次年度への対応策